

第 2 1 回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭での知事の発言

- 本日、岸田総理、松村防災担当大臣とともに、へりから被災状況を視察するとともに、輪島市・珠洲市の避難所を訪問した。

今は発災直後の段階から移行し、1. 5 次・2 次避難を大きく進めるというフェーズであり、岸田総理とは、改めて、災害関連死を防ぐため、

- ・ 現地の避難所から、できる限り多くの避難者を、1. 5 次避難所や2 次避難所等に移送するとともに、
- ・ 孤立集落の避難者を丸ごと金沢市以南の避難所に移送するミッション、

この2つの面からの取り組みをさらに加速させる必要があることで一致した。

- 1. 5 次避難所については、本日14 時時点で241 人を受け入れており、二次避難所とのマッチングと移送も軌道に乗っている。

また、被災地の避難所から、1. 5 次避難所を通さずに、2 次避難所であるホテル・旅館に直接避難する際の相談窓口である無料マッチングダイヤルを、本日開設した。積極的に広報しており、ぜひ、活用いただきたい。

さらに、県教育委員会において、能登6 市町（奥能登2 市2 町、七尾市、志賀町）の高校生約70 名を対象とした2 次避難所を、明日、金沢市内のホテルに開設する。被災した生徒に対するケアをきめ細かく行ってください。

孤立集落の避難者を丸ごと移送するミッションについては、新たに、輪島市の西保地区の約60名が、白山市松任総合運動公園内の施設に移送されることとなった。

- 先般ご案内したとおり、明日、能登町と穴水町で応急仮設住宅に着工する。

- ・ 当初計画の60戸から21戸増の81戸とし、
- ・ 能登町では、旧鶺川小学校グラウンドに66戸、
- ・ 穴水町では、川島児童公園に15戸を建設する。

- ・ さらに、12日（金）に着工した、
- ・ 輪島市のキリコ会館多目的広場では、追加で26戸、
- ・ 珠洲市のみさき小学校グラウンドでも、追加で25戸建設することとした。

- 今回の被害で、様々な案件でお困りの方に対し、ジャンルに応じた県庁の相談連絡先を分かりやすく記載した一覧表を作成した。被災者の皆さんは、遠慮なく問い合わせていただきたい。高齢者の多い地域なので、紙で広報してほしい。
- 災害時における死者の氏名等の公表について、これまで準備を進めてきたところであり、明日から、ご遺族の同意が得られた方を随時公表する。

公表の範囲は、①氏名、②住所（市町名まで）、③性別、④年齢、⑤死因（家屋倒壊・火災・土砂災害等）の5項目とする。

ご遺族の同意を得るにあたっては、心情に配慮し、決して強制はせずに、くれぐれも丁寧な説明を心掛けてください。

亡くなった方の氏名の公表は、その方の生きた証の公表でもあるので、丁寧に対処してほしい。

- なお、本日は、液状化等の甚大な被害が発生している地域である、油野かほく市長と川口内灘町長にも、この会議に加わっていただいた。後ほど、被害の現状と復旧にあたっての課題を説明いただきたい。

2. 会議最後の知事からの指示事項

- 改めて、被災地からの1. 5次避難所・2次避難所等への移送に加え、孤立集落の避難者を丸ごと移送するという、2つのミッションから取り組みを加速してください。
- 1. 5次避難所では、介護を要する被災者も多いことから、病院・高齢者施設等も含めた2次避難所とのマッチングも丁寧に進めて欲しい。

病院、介護施設、福祉施設に移すというミッションは相手方もあり、定員の充足率の問題もあるので、この辺の配慮を改めて厚労省にお願いしたい。

- 本日開設した、2次避難所であるホテル・旅館に直接避難する際の無料マッチングダイヤルの広報を、引き続き、積極的に行ってください。高齢者にわかりやすく丁寧に説明してほしい。ダイヤルの本数を増やしてほしい。
- 仮設住宅を含めた生活再建の見通しが立たなければ、被災者は、この先、どうしてよいか分からない。今日の被災地視察でも、仮設住宅の更なる建設の要望があったので、準備を加速してください。

今必要とされているのは、今後の見通し。見通しがあるから、仮設住宅の完成まで我慢することができる。その裏付けに全力を挙げて取り組んでほしい。

- 道路・水道・電気・通信のインフラ４点セットの復旧見通しを示すことができるよう、国・県・関係機関・市町の関係者がすべて連携して、全力をあげてください。
- 被災者のニーズは様々である。県庁における各分野の相談窓口では、ぜひ、お一人お一人の困りごとに寄り添った丁寧な対応をお願いしたい。

被災者それぞれに、様々な問題があるので、相談にのって、お一人お一人に合った支援策を示して、どう導いていくかを丁寧に対応してほしい。

- 新聞での広告、持ち帰ることの出来る紙でのお知らせ、ネットでのわかりやすい情報発信の３点セットは、引き続き、お願いしたい。

この地域では、半数以上が６５歳以上の高齢者で、スマホの操作もままならない。この方々をサポートできるようにお願いしたい。